

在宅看護学概論

責任者・コーディネーター	地域包括ケア講座 野村 陽子 教授		
担当講座・学科(分野)	地域包括ケア講座		
対象学年	2	区分・時間数	講義 12 時間
期 間	前期		
単 位 数	1 単位		

・学習方針（講義概要等）

在宅療養者と家族の地域における生活を理解し、在宅看護の理念・目的そして訪問看護の制度について学修する。地域包括ケアシステムにおける訪問看護の位置づけを理解し、退院支援や外来看護等の医療機関との連携について学修する。そして看護と介護のチームケアなど在宅における関係機関や関係職種との連携について理解し、在宅ケアチームにおける看護職の役割を認識する。諸外国の訪問看護を学ぶことでわが国の訪問看護の課題を考える。

・教育成果（アウトカム）

在宅看護の目的や特性を学修し、在宅療養者および家族へのニーズに即した看護の提供を理解することにより、訪問看護師の役割を説明することができる。また、訪問看護の歴史及び法的基盤について学修することにより、訪問看護活動の地域医療における位置づけを理解する。また、在宅療養者を支えるための関係機関の活動や多職種との連携・協働について学修することにより、地域包括ケアシステムにおける看護職の役割を説明することができる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

ディプロマ・ポリシー： 4、7、9

・到達目標（SBO）

1. 在宅看護の目的や特性を理解し、訪問看護師の役割を説明できる。
2. 在宅看護の対象者の特性とニーズに即した看護の提供が理解できる。
3. 療養者と家族の生活の質を高めるための支援を考えることができる。
4. 訪問看護の歴史と法的基盤を理解できる。
5. 在宅療養を支える機関とその活動について説明できる。
6. 医療、保健、福祉の多職種との連携・協働について説明できる。
7. 地域包括ケアシステムにおける訪問看護の役割・機能を説明できる。
8. 国際社会における訪問看護の現状を理解できる。

・授業日程

(矢) 東 2-B 講義室

【講義】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	授業内容/到達目標
5/25	金	2	地域包括ケア講座	野村 陽子 教授	在宅看護の目的と特性 ・在宅看護の目的と特性について説明できる
6/1	金	2	地域包括ケア講座	野村 陽子 教授	在宅看護の対象者 ・在宅看護の対象者の特徴を説明できる ・対象者のニーズに即した看護の提供が理解できる
6/6	水	4	地域包括ケア講座	野村 陽子 教授	在宅療養の支援と訪問看護 ・在宅療養者への支援について説明できる ・訪問看護師の役割について説明できる
6/15	金	2	地域包括ケア講座	野村 陽子 教授	訪問看護の発展過程と制度 ・訪問看護の発展過程を説明できる ・在宅看護に関連する制度について理解できる
6/22	金	2	地域包括ケア講座	野村 陽子 教授	在宅療養を支える機関 ・訪問看護ステーション等、在宅療養を支える機関の活動について説明できる
6/27	水	4	地域包括ケア講座	野村 陽子 教授	訪問看護と多職種連携・協働 ・医療、保健、福祉の職種との連携・協働について説明できる ・ケアマネージャの役割、介護支援計画について説明できる

7/4	水	4	地域包括ケア講座	野村 陽子 教授	地域包括ケアシステムと訪問看護 ・ 地域包括ケアシステムにおける訪問看護の役割・機能を説明できる
7/12	木	3	地域包括ケア講座	野村 陽子 教授	諸外国の訪問看護 ・ 欧米の訪問看護を理解し、日本の訪問看護の特性を理解することができる

・ 教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	系統別看護講座 在宅看護論	秋山正子 他	医学書院	2017
参	訪問看護白書ー訪問看護 10 年の歩みと これからの訪問看護ー	佐藤美穂子 他	公益財団法人 日本訪問看護財団	2002
推	家で死ぬこと、考えたことありますか	秋山正子	保健同人社	2016

・ 成績評価方法

定期試験 70%と課題レポート 30%の合計 100%にて評価する。

・ 特記事項・その他

【事前学修内容及び事前学修時間】

シラバスに記載されている次回の授業内容及び到達目標を確認し、教科書・参考書等を用いて事前学修を行うこと。また、授業を受けた後は該当する内容を教科書等で復習し、ポイントを整理して次回の授業に関する課題に取り組む。各授業に対する事前学習時間は最低 30 分を要する。

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】

提出されたレポートは、評価後、適宜コメントを付し、返却する。

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】

保健師（別表 1）：公衆衛生看護学 個人・家族・集団・組織の支援
看護師（別表 3）：統合分野 在宅看護論

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター（VPL-FWZ60）	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ（P-100）	1	講義用資料投影